

宇部・山陽小野田防災協会会長賞

「台風から命を守る」

宇部市立黒石中学校 3年 飯島 凜姫

台風が来ると、人の死に関するニュースをよく見かけます。豪雨の影響での土砂崩れや、強風によるものなど死因はいろいろあると思います。しかし、台風が来ることは誰もが予測できていることなので、対策さえしっかりすればこのニュースを減らせると思います。

では、具体的に、対策とはどんなことをすればよいのでしょうか。我が家では、主に五つ程度の対策をしています。

一つ目は、非常食の準備です。台風が来たときは、水道やガスなどのライフラインが停止することがあり、日頃使っている食料をいつも通り調理することができない場合があります。だから、火や水を使わずに食べられる非常食が役に立つのです。

二つ目は、浴槽に水を張っておくことです。水道が停止してしまったときに、飲み水ではなくトイレの水や、火事が起こってしまったときの消火用の水として使用できるからです。

三つ目は、窓にガムテープを貼っておくことです。強風で飛んできたものが窓に当たるとガラスが割れてしまい、飛び散ってしまいます。しかし、ガムテープまたは養生テープを窓に貼り付けておくと、ガラスの強度も上がるし、ガラスが割れてしまっても飛び散りにくくなります。だから、けがをする可能性が低くなるという効果があります。

四つ目は、庭など外に置いているものを倉庫などに入れておくことです。強

風でもものが飛んでいくのを防いだり、ものが倒れて散乱したりして近所に迷惑をかけてしまうということをなくせます。

五つ目は、明かりやモバイルバッテリーの準備です。夜間に停電が発生した場合に、まず必要となるのは明かりです。例えば、懐中電灯や電池式ランタン、ローソクなどが明かりになってくれます。乾電池の予備も用意しておけば明かりを確保することができます。そして、安否確認や被災状況を知るために必要なスマホ。停電時に充電できるように、モバイルバッテリーを準備することも大切です。

このように、台風から身を守るためには日頃からの対策と台風に関する知識をもっておくことが大切です。自分だけでなく多くの人の命が助かるためには、被災時を想定しての家族や友達との話し合いも必要であると思いました。私は、たくさんの人が台風の危険について理解し、対策をしっかりとって不要な外出を控えることで、ニュースで人の死に関する記事を見かけることがなくなることを望んでいます。

